南林間小だより

大和市南林間９－３－２
☎　２７５－３１４１

９月号

まだまだ暑さが厳しい日が続いていますが、本日から二学期がスタートします。

この夏休み、どのように過ごされたでしょうか。いつもであれば、海や山で遊んだり、帰省をしたり、楽しい思い出をもって登校してくるところですが、今年も「STAY HOME」の言葉が毎日のように報じられていました。いつもとは違った夏休みを過ごされたのではないかと思います。

そのようななか、１９６４年の東京オリンピック以来の夏のオリンピックが東京で開催されました。パラリンピックも、今まさに行われているところです。開催については、様々な意見がありますが、この日のために、人生の多くの時間を注ぎ込んできた選手の方々の姿は、感動や元気を与えてくれ、努力することの尊さを伝えてくれています。

また、選手を支えるために、直接選手と関わり指導する監督やコーチなどはもちろんのこと、運営に、大勢のボランティアが、様々な場面で活躍しています。パラリンピックでも、安全で安心な運営のため、力を注いでくれています。

私たち教職員は、子どもたちにとって、「新しい学びを指導する」立場であると同時に、大切な６年間を下支えする「縁の下の力持ち」であります。そのことを改めて自覚し、日々努力を積み重ねてまいります。

コロナ禍で、先の見通しが立たないなか、子どもたちには不自由な毎日を強いていますが、安全安心な毎日を過ごせるよう、家庭でも今一度感染予防対策の徹底をお願い申し上げます。

今月も、児童全員が笑顔いっぱいで、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

（校長　板坂　和明）

蝉の大合唱とともに、学校に子どもたちの元気な姿が戻り、２学期が始まりました。多くの規制のあった夏だったことと思いますが、少し凛々しくなった顔から、様々な経験をし、一回り成長したことを感じます。

この夏東京で開催されたオリンピックでは、選手たちの勇姿に一喜一憂し、たくさんの感動をもらいました。中でも印象に残っているのは、男子800ｍ準決勝の途中で、選手二人がもつれ合って地面に倒れ、競技から脱落することになってしまった場面です。二人はお互いに怒るどころか、助け合って立ち上がると、抱き合いながら一緒にゴールまで歩いていました。正々堂々と勝負し、相手選手に対する尊敬や賞賛、同じスポーツを競技する「仲間」としての意識をもって行動する姿にスポーツマンシップを感じた瞬間でした。

身近に「仲間」のいる学校は、オリンピックに負けないぐらい多くのことを感じ、学べる場だと思います。コロナ禍で活動が制限される中ですが、互いの努力に刺激を受け、認め合い成長することができるような、「仲間」との時間を大切にした教育活動づくりに努めてまいります。

２学期を迎えるにあたり、感染予防対策を再度見直しました。安心安全や健康を守り、子どもたちが元気いっぱい笑顔いっぱいに過ごせるよう、職員一同力を合わせてまいります。今月も、どうぞよろしくお願いいたします。

（教頭　小林　美紀）